

# レンジフード 取付説明書



安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5～7
各部のなまえ.....	8
付属品.....	8
製品寸法図.....	9
取り付けかた.....	10～16
1. 本体の準備.....	10
2. 本体の取り付け.....	11～12
3. フードの取り付け.....	13～14
4. 電気配線.....	15
5. 組み立て.....	15
6. 試運転.....	16
7. お客様への説明.....	16

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、  
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

1303 D481



# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
火災などの原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

# 安全上のご注意

## 警告



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



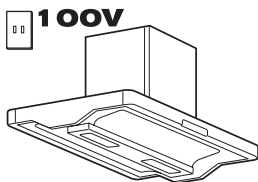
取付注意

- レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

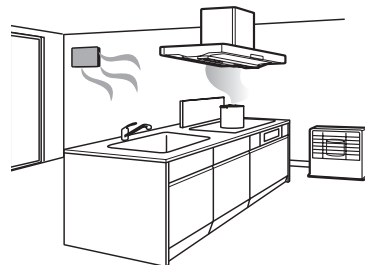
- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

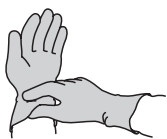


## 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



使用禁止

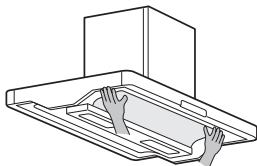
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）

感電および故障の原因になります



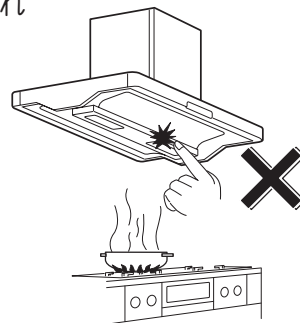
取付注意

- ファンや部品の取り付けは、**確実に**おこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



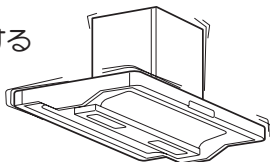
接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで**確実に**おこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります

# 取り付け上のお願い

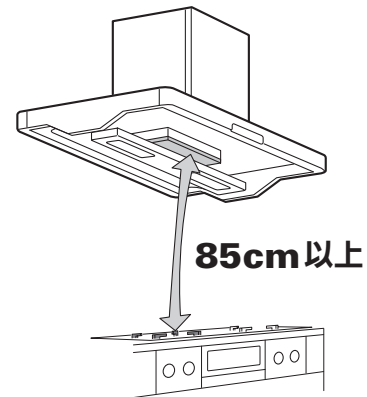
- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- 大工事  
(設置のための下地工事等)
- 配線工事  
(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
- 管工事  
(ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等)

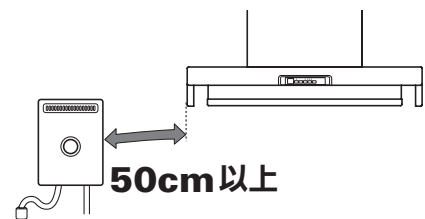
流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- ダクトの不燃処理について
  - ・ ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - ・ 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。  
また調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m<sup>3</sup>/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。  
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。

- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、アクアスリットフィルタの下端が調理機器の真上 85cm 以上になるようにしてください。



- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm<sup>2</sup> 程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります

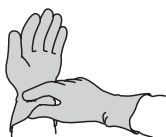
## 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付禁止

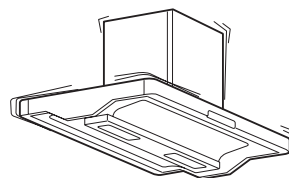
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります



取付注意

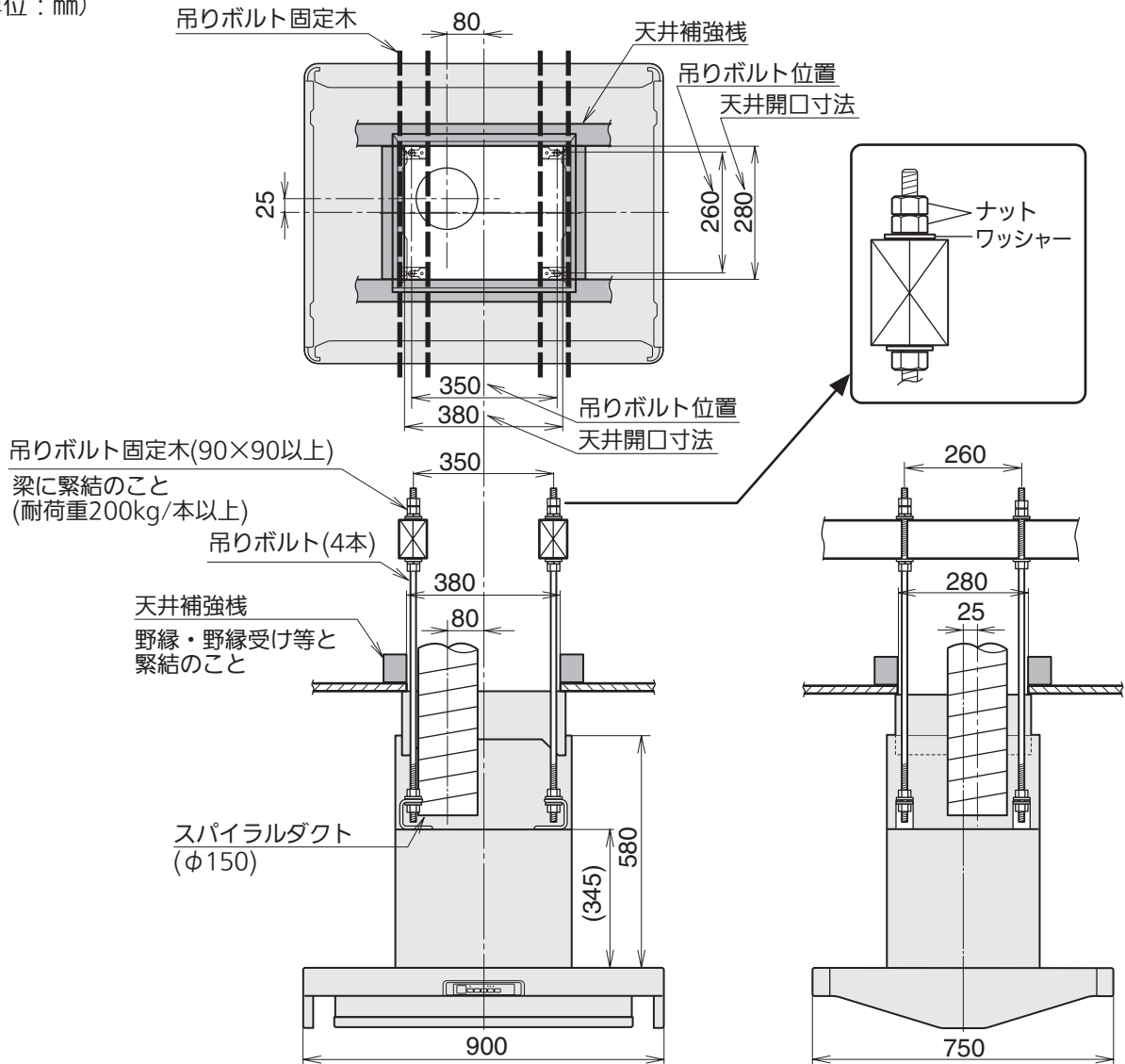
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



# 取り付け前の調査と準備

## ■ 取付要領図

(単位：mm)



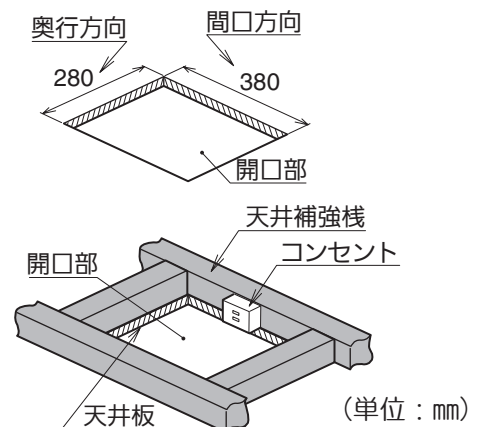
## ■ 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量	33.0 kg
------	---------

### 1 天井面への穴あけ

- 1) 天井面の本体を取り付ける位置に間口 380× 奥行 280 の開口をあけてください。
- 2) 開口部周辺を補強棧で補強してください。  
※ 補強棧は、野縁・野縁受け等に固定してください。
- 3) 天井開口部近くの補強棧または野縁等に専用コンセントを設置してください。



# 取り付け前の調査と準備

## 2 吊りボルトの取り付け

本体の天吊り穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

※ 吊りボルトは M10～M12 を用いてください（取付作業  
者側手配）。

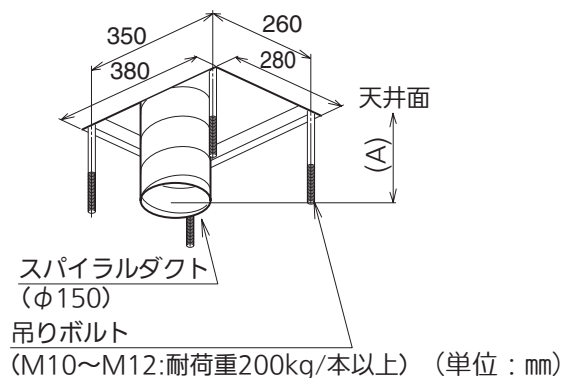
※ 製品の質量は約 33kg です。吊りボルトは耐荷重 200kg  
／本以上となるように取り付けてください。

### お願い

天井からのダクトおよび吊りボルトの突き出し長さは調理機器の高さにより異なります。表を参考にして各々の突き出し長さを決定してください。

$$\text{ダクトと吊りボルトの突き出し長さ} = \text{製品総高さ} - 535$$

※ 製品総高さについては9ページをご参照ください。



製品総高さ	ダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A)
750	215
800	265
850	315
900	365

(単位: mm)

## 3 排気ダクトの取り出し

φ 150 のスパイラルダクトを、取付要領図の位置に取り出してください。

## 4 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からアクアスリットフィルタの下端まで 85cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルタの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

## 5 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください（交流・単相 100V）。

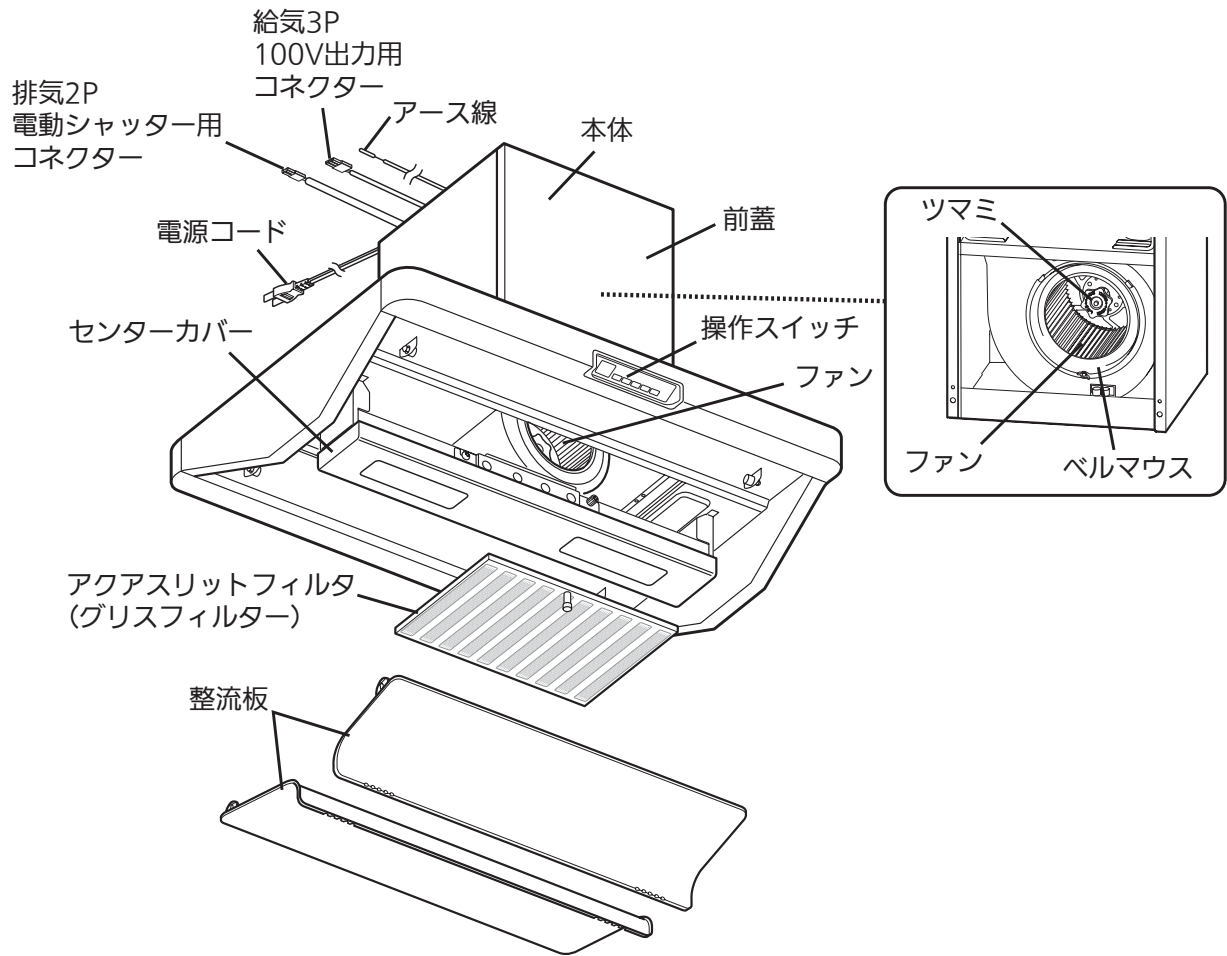
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

※ 詳細は「4. 電気配線」（15 ページ）をご参照ください。






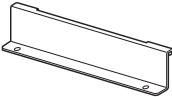

### お願い

必ずアース（D 種接地工事）をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

# 各部のなまえ



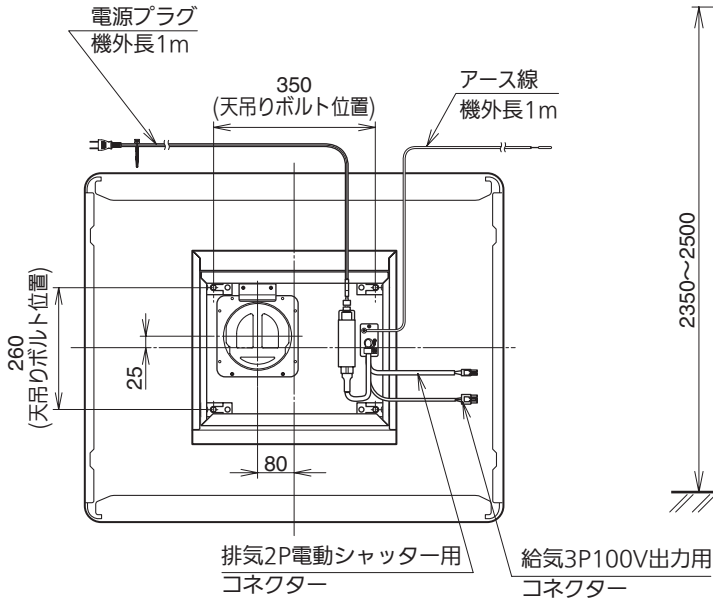
# 付属品

	座付ねじ (φ 5.1 × 25) 4本	ダクトカバーの取り付けに 使います。		フード引掛金具 (1個)	フードの取り付けに 使います。
	トラスねじ (M4 × 10) 8本	フード引掛金具、 引掛棧およびダクト カバーの取り付けに 使います。		フード引掛棧 (1個)	フードの取り付けに 使います。
	トラスねじ (M5 × 12) 4本	フードと本体の固定に 使います。		フード固定金具 (1個)	フードと本体の固定に 使います。
	ソフトテープ (1個)	排気口とダクトとの 隙間をふさぐのに 使います。			

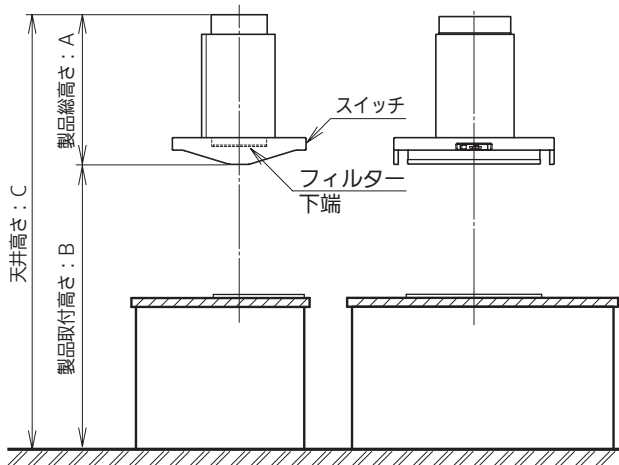
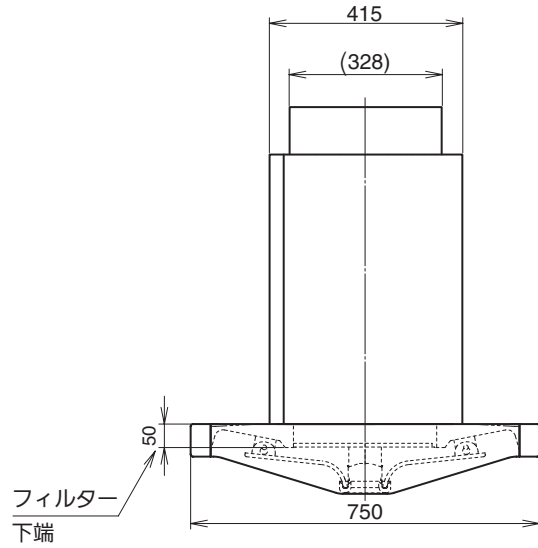
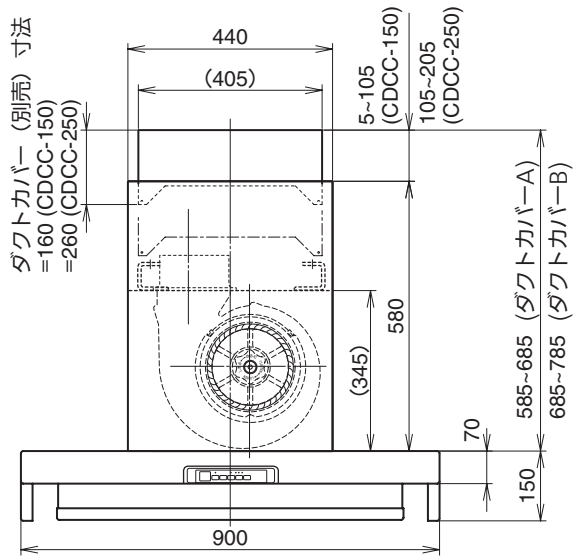
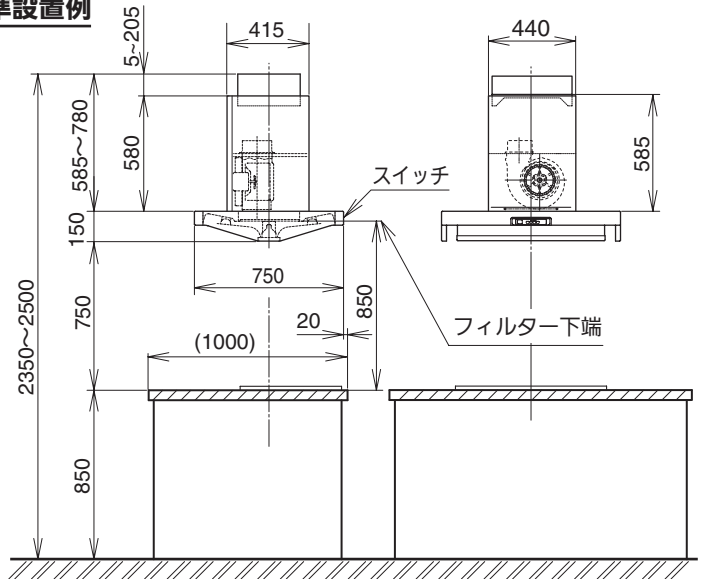


# 製品寸法図

(単位：mm)



## 標準設置例



ダクトカバー品番	製品総高さ：A	製品取付高さ：B	天井高さ：C
CDCC-150	735 ~ 835	1550	2285 ~ 2385
		1600	2335 ~ 2435
		1650	2385 ~ 2485
		1700	2435 ~ 2535
		1750	2485 ~ 2585
CDCC-250	835 ~ 935	1550	2385 ~ 2485
		1600	2435 ~ 2535
		1650	2485 ~ 2585
		1700	2535 ~ 2635
		1750	2585 ~ 2685

# 取り付けかた

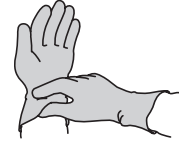
## 1. 本体の準備

### ⚠ 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



### 1 付属品を確認します。

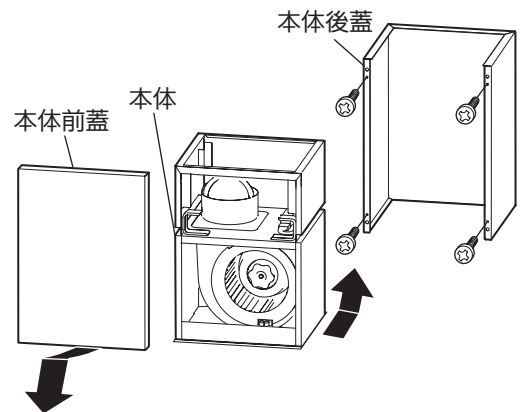
梱包箱から本体、フード、金具類、ねじ等の付属品を取り出して確認します。

### 2 本体前蓋・後蓋をはずします。

- 1) 本体前蓋下部を手前に引いてローラーキャッチをはずし、下方に少しずらしてはずします。
- 2) 本体後蓋は、取付ねじ4本をはずし、後方へスライドさせて本体から取りはずします。

#### お願い

取りはずしたねじは本体の取り付けで再使用しますのでなくさないようにご注意ください。



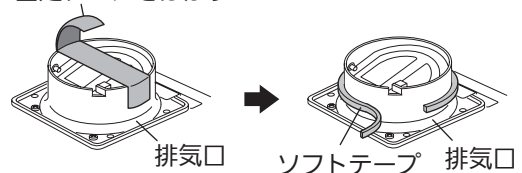
### 3 排気口にソフトテープを貼り付けます。

排気口のシャッター固定テープをはがし、ソフトテープを貼り付けます。

#### お願い

シャッター固定テープは輸送中の固定テープです。必ずはがしてください。

固定テープをはがす



# 取り付けかた

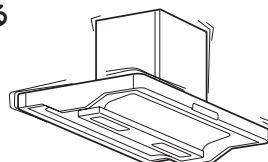
## 2. 本体の取り付け

### ⚠ 注意



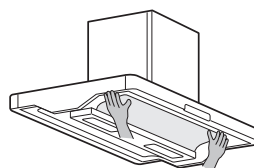
取付注意

- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと  
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと  
落下によりけがをするおそれがあります



### 1 レンジフードの固定位置を決めます。

- 1) 図を参考にして、次式によりマーカ位置 (X: 吊り金具固定位置) の値を算出してください。

$$X = \text{天井高さ} - (\text{キッチンカウンター高さ} + 900 + 405)$$

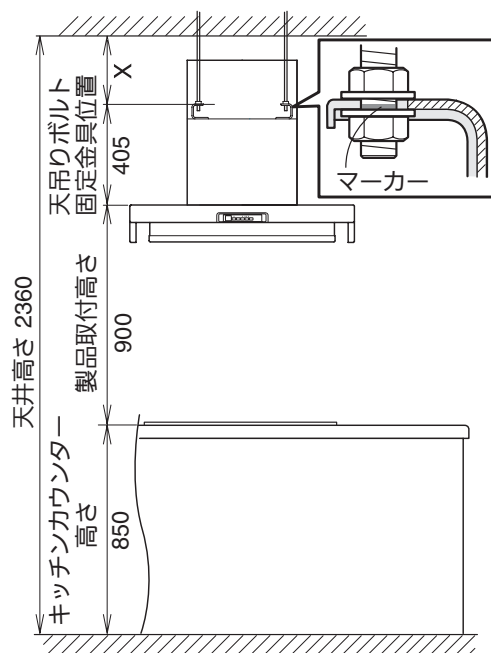
例: キッチンカウンターの高さが  
850mm のものを設置する場合:  
 $2360 - (850 + 900 + 405) = 205$

天井からのマーカ位置(X)は 205mm となります。

- 2) 吊りボルトに天井から X の値の位置にマジックペンなどでマーカをつけます。

#### お願い

吊りボルトが長く、切断しなければならない場合、グラインダー等の火花が散る工具での切断は絶対におこなわないでください。  
火災などの原因になるおそれがあります。



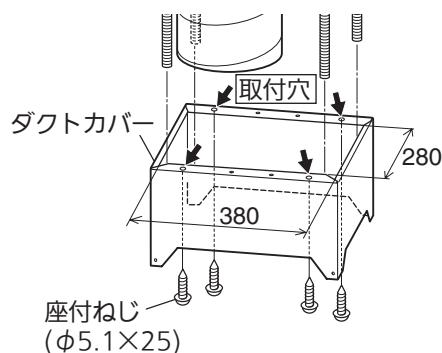
(単位: mm)

### 2 ダクトカバー (別売品) を取り付けます。

ダクトカバーを付属品の座付ねじ (φ 5.1 × 25) 4 本で天井面に固定します。  
天井面の開口部とダクトカバーの内側を合わせて、取付穴 4ヶ所を固定します。

#### お願い

取付穴 (右図 ↓ 部分) があいている面を前後方向にします。



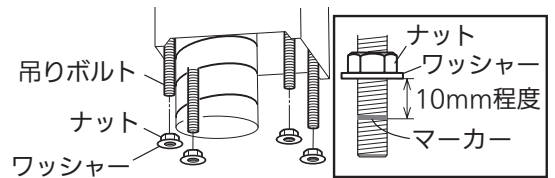
# 取り付けかた

## 3 吊りボルトに上側のナットとワッシャーを取り付けます。

直径 24mm 以内のワッシャーおよびナット各 4 個（ともに取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置より 10mm 程度上にねじ込みます。

### お願い

取付完了時、調理機器からフード上面まで 900mm にならない場合は調節してください。



## 4 吊りボルトに本体を固定します。

1) 本体を持ち上げて 4ヶ所の吊り金具を吊りボルトに通し、吊り金具を挟み込むように下側から直径 24mm 以内のワッシャーおよびナット各 4 個（ともに取付作業側手配）をマーカ位置までねじ込みます。

### お願い

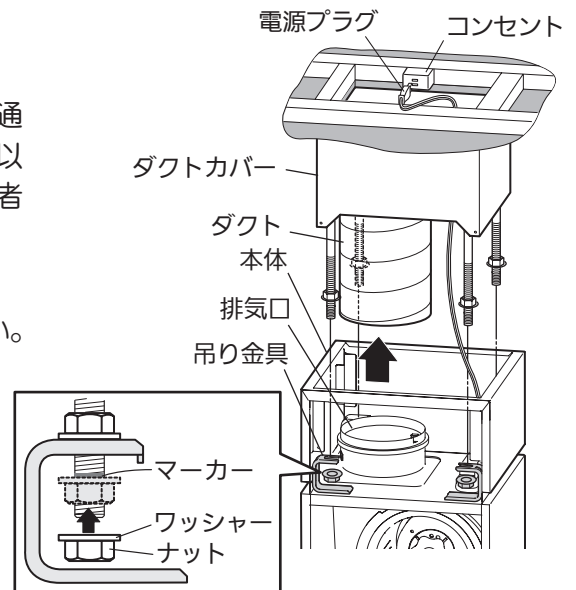
排気口にダクトを差し込みながら本体を取り付けてください。

2) 下側のナットで高さ寸法および水平調整をおこなってから上側のナットをしっかりと締め付けます。

3) 天井裏のコンセントに電源プラグを差し込みます。

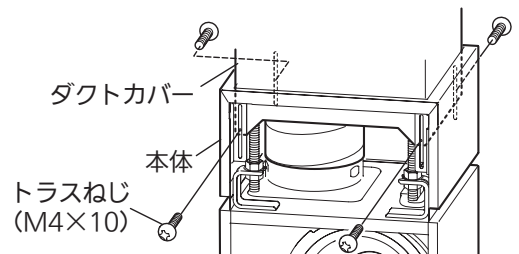
### お願い

ブレーカーは「6. 試運転」まで「入」にしないでください。

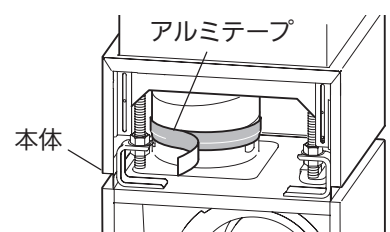


## 5 ダクトカバーと本体を固定します。

ダクトカバーと本体を付属品のトラスねじ (M4×10) 4 本で固定します。



## 6 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこなってください。

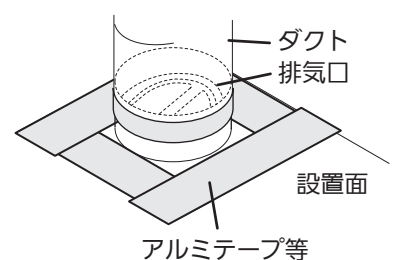


### ■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。

漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

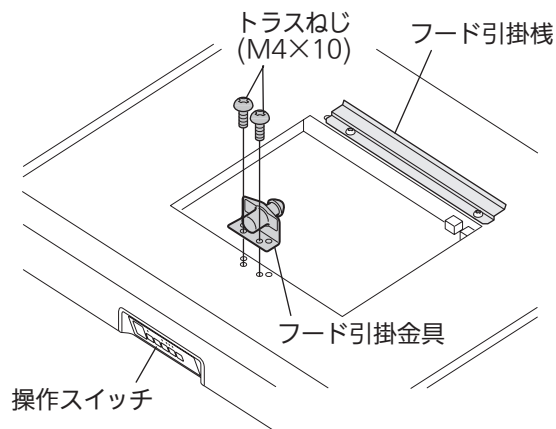


# 取り付けかた

## 3. フードの取り付け

### 1 フード引掛金具とフード引掛棧を取り付けます。

- 1) フード上面前側（操作スイッチ側）に付属品のフード引掛金具を付属品のトラスねじ（M4×10）2本で取り付けます。
- 2) 反対側に付属品のフード引掛棧を付属品のトラスねじ（M4×10）2本で取り付けます。

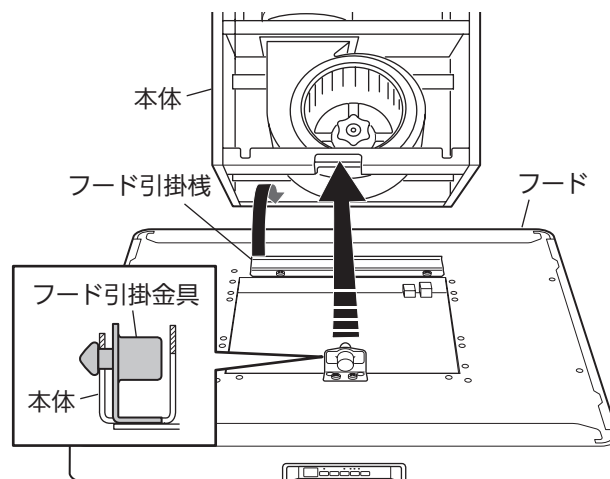


### 2 本体にフードを取り付けます。

- 1) フードを持ち上げ、やや左寄りにしてフード引掛棧を本体内側のフランジに差し込みます。
- 2) フード引掛金具が本体に「カチッ」とロックするまで持ち上げます。

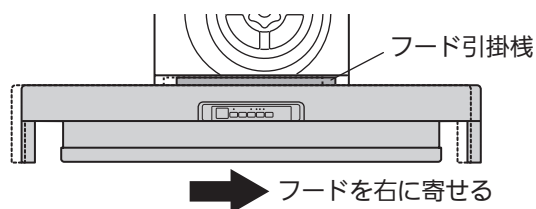
#### お願い

フード引掛金具のストッパーが本体の棧に確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。



### 3 フードを右へ寄せます。

本体のフランジとフード引掛棧右端が合わさるまで寄せると、本体とフードの取付穴が合います。



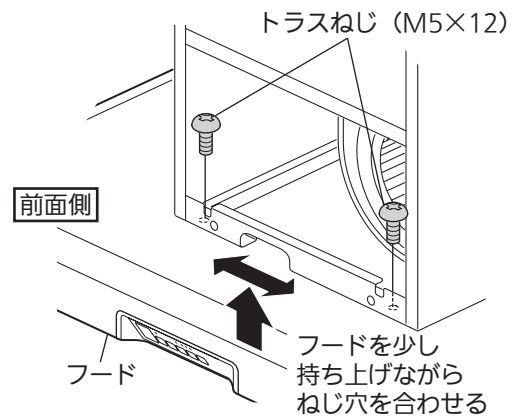
# 取り付けかた

## 4 フード前面を固定します。

前面側を付属品のトラスねじ (M5 × 12) 2本で本体とフードを固定します。フード部を少し持ち上げて、ねじ穴を合わせながらねじ止めしてください。

### お願い

ねじを締め付ける際には、インパクトドライバー等は使用しないでください。ねじ部が損傷するおそれがあります。

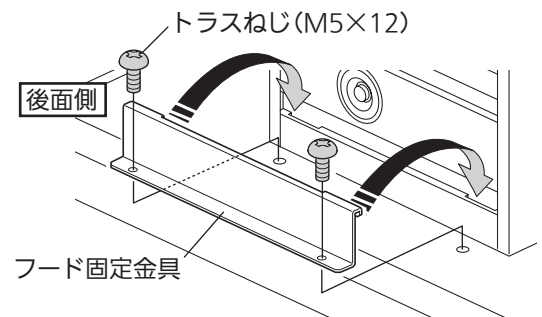


## 5 フード後面を固定します。

付属品のフード固定金具を後面側に引っ掛け、付属品のトラスねじ (M5 × 12) 2本でフードに固定します。

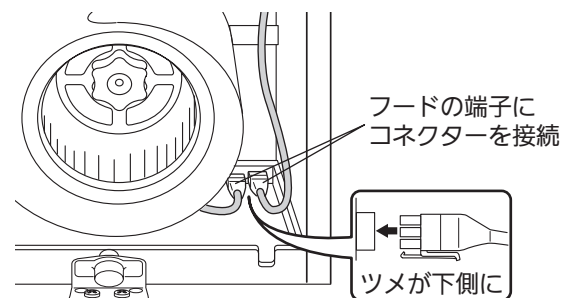
### お願い

ねじを締め付ける際には、インパクトドライバー等は使用しないでください。ねじ部が損傷するおそれがあります。



## 6 コネクターを接続します。

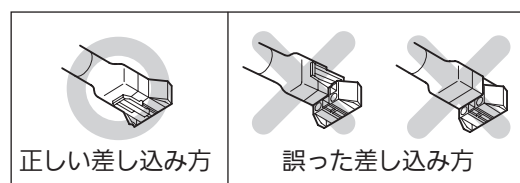
本体から出ている6Pおよび9Pコネクターをフードの端子に正しく接続します。



### お願い

#### コネクターの接続について

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。コネクターを確実に接続しないと作動不良や発熱などによる故障の原因になります。



# 取り付けかた

## 4. 電気配線

### 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



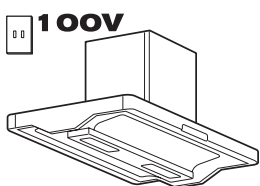
アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因  
になります



- コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。
- コンセントは電源コードの長さを考慮し、天井開口部付近に設置してください。  
(「取り付け前の調査と準備」参照)
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。

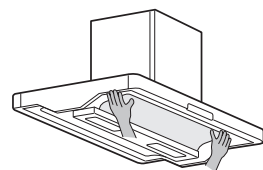
## 5. 組み立て

### 注意



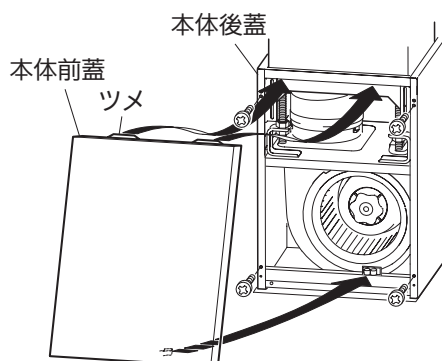
取付注意

- ファンや部品の取り付けは  
確実にこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります。



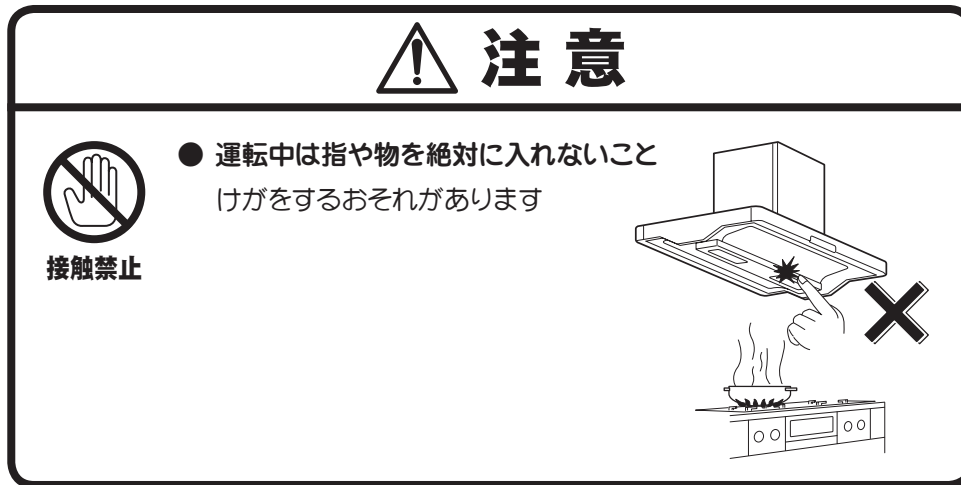
各部品が確実に組み立てられているか確認した後、  
本体前蓋・後蓋を取り付けてください。

- 1) 本体後蓋を取付ねじ4本で固定します。  
※「1. 本体の準備」手順2-2)(10 ページ)  
ではずしたねじを使用してください。
- 2) 本体前蓋上部のツメを引っ掛けて上方へ少しずらし、下側のローラーキャッチをはめ込んでください。



# 取り付けかた

## 6. 試運転



- ブレーカーを「入」にします。
- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。  
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

## 7. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。